

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月26日

上場会社名 東洋機械金属株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6210 URL <http://www.toyo-mm.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田畑 禎章  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 酒井 雅人 (TEL) (078)942-2345  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,810	△18.0	△232	—	△183	—	△325	—
2024年3月期第1四半期	7,087	△12.8	45	△87.8	75	△82.1	△115	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △63百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 10百万円 (△97.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△15.85	—
2024年3月期第1四半期	△5.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	30,105	18,161	58.8
2024年3月期	30,062	18,584	60.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 17,703百万円 2024年3月期 18,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	△4.0	△250	—	△200	—	△350	—	△17.04
通期	31,000	7.5	300	—	400	—	100	—	4.87

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更  
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	20,703,000株	2024年3月期	20,703,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	168,025株	2024年3月期	168,020株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	20,534,977株	2024年3月期1Q	20,525,476株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)におけるわが国経済は、不安定な国際情勢、原材料価格やエネルギーコストの高騰、行き過ぎた円安などに伴う物価上昇による設備投資や個人消費マインドの変化などから、わが国の景気を下押しするリスクがあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

海外経済におきましては、欧米各国のインフレ鎮静化に資する金融引き締め政策の継続によって、景気は下押しの圧力がみられました。また、長期化するウクライナ紛争や中東情勢などの地政学的リスク、中国の景気減速に加えて各国の金融・財政政策などによる世界経済の後退懸念が継続しており、先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループの事業に関連する市場におきましては、国内や海外の一部のエリアにおいて投資意欲が低調に推移しました。また、材料価格やエネルギー価格の上昇の影響などにより、コストが上昇し厳しい経営環境の下で推移しました。

このような市場環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、2027年3月期を最終年度とする第4期・中期経営計画2026の3つの基本方針(1. 持続的に稼ぐ力の向上、2. 成形イノベーションの創出と「Customers' Value Up」の進化、3. 経営基盤の更なる強化)の下、各諸施策に取り組みました。

この結果、受注高は7,393百万円(前年同四半期比9.1%増)となりました。しかし、売上高は引き続き受注環境が低調であることから、5,810百万円(同18.0%減)となりました。このうち、国内売上高は1,812百万円(同5.4%増)、海外売上高は3,997百万円(同25.5%減)となり、海外比率は68.8%となりました。損益につきましては、売上高の減少に伴う売上総利益の減少などの影響により、営業損失は232百万円(前年同四半期は営業利益45百万円)、経常損失は183百万円(前年同四半期は経常利益75百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は325百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失115百万円)となりました。

製品別の売上状況は、以下の通りです。

#### [射出成形機]

受注は、国内・海外共に増加しました。国内売上は工業部品関連で減少しました。海外売上は中国のIT電子機器や医療関連、米国の生活用品関連が減少しました。この結果、受注高は5,260百万円(前年同四半期比11.3%増)、売上高は3,993百万円(同25.3%減)となりました。このうち、海外売上高は2,804百万円(同30.5%減)となり、海外比率は70.2%となりました。

#### [ダイカストマシン]

受注は、国内では減少し海外では増加しました。国内売上は自動車や工業部品関連が増加しました。海外売上は中国の自動車関連が減少しました。この結果、受注高は2,132百万円(前年同四半期比4.0%増)、売上高は1,816百万円(同4.5%増)となりました。このうち、海外売上高は1,193百万円(同10.3%減)となり、海外比率は65.7%となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて97百万円減少しました。これは、主に現金及び預金の増加1,103百万円及び棚卸資産の増加593百万円があったものの、売上債権の減少1,164百万円及び未収消費税等を含むその他流動資産の減少630百万円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて140百万円増加しました。これは、主に無形固定資産の減少29百万円及び繰延税金資産の減少16百万円があったものの、有形固定資産の増加129百万円及び投資有価証券の増加56百万円があったことによるものであります。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて391百万円減少しました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金の増加280百万円があったものの、仕入債務の減少338百万円及び未払費用の減少180百万円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて857百万円増加しました。これは、主に退職給付に係る負債の減少96百万円があったものの、長期借入金の増加860百万円及び繰延税金負債の増加97百万円があったことによるものであります。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて423百万円減少しました。これは、主に為替換算調整勘定の増加213百万円があったものの、配当を行ったことによる利益剰余金の減少359百万円及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少325百万円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、2024年4月24日に公表した予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,167	7,270
受取手形及び売掛金	4,692	4,084
電子記録債権	2,197	1,640
商品及び製品	2,963	3,701
仕掛品	3,594	3,331
原材料及び貯蔵品	990	1,109
その他	1,315	684
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	21,912	21,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,354	4,325
機械装置及び運搬具（純額）	1,157	1,067
工具、器具及び備品（純額）	134	131
土地	782	782
リース資産（純額）	48	45
建設仮勘定	31	286
有形固定資産合計	6,508	6,638
無形固定資産	397	368
投資その他の資産		
投資有価証券	1,048	1,104
繰延税金資産	142	126
その他	615	640
貸倒引当金	△562	△587
投資その他の資産合計	1,243	1,283
固定資産合計	8,149	8,290
資産合計	30,062	30,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,400	3,079
電子記録債務	993	975
短期借入金	2,000	2,000
1年内返済予定の長期借入金	160	440
未払費用	607	427
未払法人税等	139	66
未払消費税等	16	19
製品保証引当金	55	52
役員賞与引当金	—	0
その他	1,492	1,412
流動負債合計	8,866	8,474
固定負債		
長期借入金	100	960
退職給付に係る負債	1,813	1,716
繰延税金負債	651	748
その他	47	44
固定負債合計	2,612	3,469
負債合計	11,478	11,944
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,506	2,506
資本剰余金	2,393	2,393
利益剰余金	11,947	11,262
自己株式	△32	△32
株主資本合計	16,814	16,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	208	249
繰延ヘッジ損益	△17	△15
為替換算調整勘定	970	1,183
退職給付に係る調整累計額	163	155
その他の包括利益累計額合計	1,323	1,573
非支配株主持分	446	458
純資産合計	18,584	18,161
負債純資産合計	30,062	30,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	7,087	5,810
売上原価	5,763	4,787
売上総利益	1,323	1,023
販売費及び一般管理費	1,277	1,255
営業利益又は営業損失(△)	45	△232
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	14
固定資産賃貸料	17	17
為替差益	—	36
助成金収入	7	—
持分法による投資利益	12	—
その他	5	12
営業外収益合計	53	80
営業外費用		
支払利息	—	11
固定資産賃貸費用	2	2
為替差損	18	—
持分法による投資損失	—	14
その他	2	3
営業外費用合計	23	32
経常利益又は経常損失(△)	75	△183
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4
貸倒引当金繰入額	94	—
特別損失合計	94	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△18	△188
法人税、住民税及び事業税	43	29
法人税等調整額	42	99
法人税等合計	86	128
四半期純損失(△)	△104	△316
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	8
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△115	△325



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△104	△316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	40
繰延ヘッジ損益	△24	1
為替換算調整勘定	109	198
退職給付に係る調整額	0	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	19	19
その他の包括利益合計	115	252
四半期包括利益	10	△63
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11	△75
非支配株主に係る四半期包括利益	22	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	193百万円	208百万円